

Ⅲ 一般会計の状況

1 歳入の状況

(単位：百万円、%)

| 区分 | 25年度 ① | 24年度 ② | 増減額 ①-②=③ | 比較 ①/② |
|-------------------------------------|-----------|-----------|--------------|-----------|
| 県 税 ① | 627,719 | 629,499 | ▲1,780 | 99.7 |
| 地方譲与税 ② | 70,225 | 70,225 | | 100.0 |
| 地方特例交付金 ③ | 2,995 | 2,995 | | 100.0 |
| 〔臨時財政対策債を含む 実質的な地方交付税〕 ④ | [322,000] | [347,000] | [▲25,000] | [92.8] |
| 地方交付税 | 151,000 | 176,000 | ▲25,000 | 85.8 |
| 普通交付税 | 150,000 | 175,000 | ▲25,000 | 85.7 |
| 特別交付税 | 1,000 | 1,000 | | 100.0 |
| 交通安全対策特別交付金 | 1,900 | 1,900 | | 100.0 |
| 分担金・負担金 ⑤ | 5,197 | 7,713 | ▲2,516 | 67.4 |
| 使用料・手数料 | 18,806 | 19,132 | ▲326 | 98.3 |
| 国庫支出金 ⑥ | 146,730 | 160,917 | ▲14,187 | 91.2 |
| 財産収入 | 2,065 | 1,879 | 186 | 109.9 |
| 寄附金 | 3 | 1 | 2 | 300.0 |
| 繰入金 ⑦ | 24,147 | 52,978 | ▲28,831 | 45.6 |
| 諸収入 ⑧ | 197,315 | 225,917 | ▲28,602 | 87.3 |
| 県 債 ⑨ | 228,656 | 250,952 | ▲22,296 | 91.1 |
| 建設地方債 | 45,156 | 64,552 | ▲19,396 | 70.0 |
| 退職手当債 | 12,500 | 15,400 | ▲2,900 | 81.2 |
| 臨時財政対策債 | 171,000 | 171,000 | | 100.0 |
| 合 計 | 1,476,758 | 1,600,108 | ▲123,350 | 92.3 |

[概要]

- ①**県税**については、法人事業税・県民税や軽油引取税が増加する一方、自動車取得税の減少や県たばこ税の一部が市町村に移譲されることなどから、約18億円の減を見込んでいます。

(単位：百万円)

| 区分 | H25 | H24 | 差引 |
|--------|---------|---------|---------|
| 法人二税 | 103,886 | 99,172 | 4,714 |
| 法人事業税 | 77,474 | 74,504 | 2,970 |
| 法人県民税 | 26,412 | 24,668 | 1,744 |
| 軽油引取税 | 40,962 | 37,580 | 3,382 |
| 自動車取得税 | 6,813 | 9,383 | ▲ 2,570 |
| 県たばこ税 | 7,731 | 12,692 | ▲ 4,961 |
| その他 | 468,327 | 470,672 | ▲ 2,345 |
| 合計 | 627,719 | 629,499 | ▲ 1,780 |

- ②**地方譲与税**及び③**地方特例交付金**については、現時点では、地方財政計画が不明なことから、それぞれ前年度と同額を見込んでいます。

- ④**実質的な地方交付税**についても、通年ベースでは前年度と同額程度を見込んでいますが、当初予算ではこのうち3,220億円を計上しました。

- ⑤**分担金・負担金**及び⑥**国庫支出金**については、公共事業等において、継続中の工事や工程上年度当初から着手することが必要な事業を計上したことなどから、それぞれ減となる見込みです。

- ⑦**繰入金**については、子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例基金事業が24年度末をもって終了すること、また、緊急雇用創出事業等臨時特例基金の減などにより、約288億円の減となっています。

なお、25年度以降、継続が不明な基金などは6月補正での計上を予定しています。

- ⑧**諸収入**については、中小企業振興資金貸付金において、当面の必要額として1,600億円を計上したことなどにより、約286億円の減となっています。

- ⑨**県債**については、公共事業等について、継続中の工事や工程上年度当初から着手することが必要な事業を計上したことなどから、建設地方債が減額となっています。

2 歳出の状況

(単位：百万円、%)

| 区 分 | 25年度 ① | 24年度 ② | 増減額 ①-②=③ | 比較 ①/② |
|------------------------|-----------|-----------|--------------|-----------|
| 人 件 費 ① | 581,721 | 596,899 | ▲ 15,178 | 97.5 |
| 〔うち退職手当〕 | [61,316] | [69,482] | [▲ 8,166] | [88.2] |
| 〔うち調整率引下げに伴う影響額〕 | [▲ 7,244] | | [▲ 7,244] | 皆増 |
| 知事部局 | 70,106 | 76,115 | ▲ 6,009 | 92.1 |
| 教育庁 | 392,306 | 400,272 | ▲ 7,966 | 98.0 |
| 〔うち小中学校教職員〕 | [271,045] | [278,498] | [▲ 7,453] | [97.3] |
| 警察本部 | 119,309 | 120,512 | ▲ 1,203 | 99.0 |
| 物件費 | 30,942 | 31,501 | ▲ 559 | 98.2 |
| 維持補修費 | 4,068 | 3,784 | 284 | 107.5 |
| 社会保障費 ② | 220,756 | 216,998 | 3,758 | 101.7 |
| 投資的経費 ③ | 105,114 | 147,788 | ▲ 42,674 | 71.1 |
| 普通建設 | 84,543 | 121,248 | ▲ 36,705 | 69.7 |
| 補助 | 47,309 | 69,737 | ▲ 22,428 | 67.8 |
| 単独 | 37,234 | 51,511 | ▲ 14,277 | 72.3 |
| 受託 | 714 | 4,268 | ▲ 3,554 | 16.7 |
| 災害 | 2,358 | 4,621 | ▲ 2,263 | 51.0 |
| 直轄 | 17,499 | 17,651 | ▲ 152 | 99.1 |
| その他 消費的経費 ④ | 340,150 | 414,706 | ▲ 74,556 | 82.0 |
| 負担金 | 12,681 | 13,110 | ▲ 429 | 96.7 |
| 補助金 | 43,064 | 75,506 | ▲ 32,442 | 57.0 |
| 交付金 | 88,715 | 96,184 | ▲ 7,469 | 92.2 |
| うち税交付金 | 79,354 | 84,890 | ▲ 5,536 | 93.5 |
| 委託料 | 28,292 | 29,738 | ▲ 1,446 | 95.1 |
| 貸付金 | 160,969 | 190,912 | ▲ 29,943 | 84.3 |
| その他 | 6,429 | 9,256 | ▲ 2,827 | 69.5 |
| 公 債 費 ⑤ | 186,435 | 180,233 | 6,202 | 103.4 |
| 積立金 | 1,430 | 1,392 | 38 | 102.7 |
| 繰出金 | 5,992 | 6,657 | ▲ 665 | 90.0 |
| 予備費 | 150 | 150 | | 100.0 |
| 合 計 | 1,476,758 | 1,600,108 | ▲ 123,350 | 92.3 |

[概要]

①**人件費**については、退職手当制度の見直しや、定年退職者数の減により約82億円の減となることや、共済費の負担率の見直しにより約40億円の減となることなどから、前年度に比べ約152億円の減額となっています。

なお、教育庁には、小中学校教職員の人件費 約2,710億円が含まれます。

②**社会保障費**については、子宮頸がんの予防などの基金事業が24年度で終了する一方、後期高齢者医療給付費県負担金や子ども医療費助成事業などが増加するため、全体では約38億円の増額となっています。

〔 なお、対前年度伸び率は1.7%ですが、基金事業を除くと6.1%の伸びとなっています。 〕

③**投資的経費**については、公共事業等について、継続中の工事や工程上年度当初から着手することが必要な事業を計上したことなどから、約427億円の減額となっています。

④**その他消費的経費**については、補助金が、私立学校経常費補助を6月交付分のみ計上したことにより、約324億円の減額となっています。

また、貸付金は、中小企業振興資金において、当面の必要額として1,600億円を計上したため、約299億円の減額となっています。

さらに、自動車取得税の減により、税交付金が55億円の減となっていることなどから、全体では約746億円の減額となっています。

⑤**公債費**については、臨時財政対策債などの県債残高の増に伴う、将来の償還に備えた県債管理基金への積立金の増などにより、約62億円の増額となっています。

3 地方債の状況

(1) 県債発行の状況

(単位:億円)

| 区 分 | 25年度 当初予算 (A) | 24年度 当初予算 (B) | 増減 (A)-(B) |
|----------|---------------------|---------------------|---------------|
| 建設地方債等① | 577 | 800 | ▲223 |
| 建設地方債 | 452 | 646 | ▲194 |
| 退職手当債 | 125 | 154 | ▲29 |
| 臨時財政対策債② | 1,710 | 1,710 | 0 |
| 計(①+②) | 2,287 | 2,510 | ▲223 |

- 平成25年度当初予算は骨格予算としたことから、公共事業等については、継続中の工事や、工程上年度当初から着手することが必要な事業を計上したため、建設地方債は減少しています。
- また、臨時財政対策債については、地方財政計画が不明なことから、前年度と同額を見込んでいます。
- こうしたことから、県債全体の発行額は、前年度と比べて減となっています。

(2) 県債残高の状況

(単位:億円)

| 区 分 | 22年度 | 23年度 | 24年度 (ア) | 25年度 (イ) | 増 減 (イ)－(ア) |
|-------------------------|--------|--------|-------------|-------------|----------------|
| 建設地方債等① | 17,142 | 16,749 | 16,277 | 15,769 | ▲508 |
| 建設地方債 | 16,096 | 15,723 | 15,284 | 14,689 | ▲595 |
| 退職手当債 | 1,046 | 1,026 | 993 | 1,080 | 87 |
| 臨時財政対策債等② | 9,097 | 10,680 | 12,184 | 13,551 | 1,367 |
| 計(①+②) | 26,239 | 27,429 | 28,461 | 29,320 | 859 |
| (参考)満期一括償還 のための積立金残高 | 2,442 | 2,818 | 3,166 | 3,349 | 183 |

- 注1 満期一括償還分の積立金残高を控除した実質的な地方債残高
 2 臨時財政対策債等：臨時財政対策債、減税補てん債、減収補てん債
 3 23年度までは決算額、24年度は2月補正後見込み

- 平成25年度当初予算段階における年度末の県債残高(満期一括償還分の積立金を除く実質残高)は、2兆9,320億円となる見込みです。
- 24年度末見込みと比べると、859億円増加していますが、その主な要因は、地方交付税の振替である臨時財政対策債の残高の増加です。
- 建設地方債等の残高については、これまで発行の抑制に努めてきたこと、平成25年度当初予算が骨格予算のため建設地方債の発行額が減少していることにより、508億円減少しています。

4 年間収支見込み（一般財源ベース）

- 平成25年度予算は、法人事業税・県民税や軽油引取税が前年度に比べ増加するものの、自動車取得税や県たばこ税の減少が大きいことから、県税収入全体では減少が見込まれるとともに、公債費や社会保障費は前年度よりも増加することから、大変厳しい財政状況となりました。

このため、当初予算においては、事務・事業の徹底した見直しを行う一方で、今後の追加財政需要に必要な財源についても配慮し、退職手当債や基金を活用して、必要な財源を確保しました。

- なお、肉付け予算である6月補正予算については、現段階で内容、規模等が固まってはおりませんが、財源確保のため、当初予算において地方交付税の一部を計上留保するとともに、財政調整基金の活用についても必要最小限に留めました。